

仙台市幼児教育の指針(中間案)に寄せられたご意見と本市の考え方

No.	該当章	ページ	該当項目	意見(要約)	本市の考え方
1	ー 全体	ー	ー	市民を対象としているならば「教育」という言葉の扱いは慎重に考えた方が良い。「幼児教育」という言葉を、市民、幼稚園教諭、保育士、保育教諭すべて同列であるかのように扱うのは非常に問題ではないかと思う。	幼児教育は、家庭や地域、幼稚園・保育所等がそれぞれの場でそれぞれの役割を果たしながら、相互に連携協力して行われることが重要であると考えます。
2				仙台市ならではの、独自の内容であるべきだと思う。仙台市だからこそ発生する問題や目的、ビジョン達成の趣旨に基づいた内容にすべきかと思う。	本市ならではのものといたしまして、いじめの問題や東日本大震災を受けて、命を大切に作る心や災害から身を守る意識を育むことを、また、小学校以降の教育との連携の観点から、市内の小中学校や中学校で取り組まれている「たくましく生きる力育成プログラム」を考慮しながら、たくましく生きる力の基礎となる知恵や態度を育むことを基本方針の中に盛り込んでおります。
3				乳幼児期に外で遊んできた子どもたちは、幼稚園や小学校に入った時点ですでによく食べ、よく眠ることも習慣化されていたり、周囲への関心や意欲が旺盛です。 親をはじめとする大人たちに普及啓発するという意味を含めて、乳幼児期の外での遊びの重要性を強く記載してほしい。	乳幼児期に外で遊ぶことは、身体機能の発達や体力の向上に資するのみならず、自然に触れることによる発見や感動の経験など屋内の遊びでは得られない様々な豊かな体験を子どもに与えてくれますことから、とても大切であると考えております。今後作成を予定している保護者向けリーフレットなどにより、外で体を動かして遊ぶことの大切さについて周知・啓発してまいります。
4				一つの文章の中に、複数のポイントを入れ込んでしまうことで要点がぼやけたり、独立して重要なものが、＜主／従＞の関係にあるように見える箇所が散見される。要点の構造を正確に表現されることを望む。	修正する際にご意見を考慮いたします。
5				今回の指針案では、「生活や遊びを通して」というように、生活と遊びをくくって記述しているところが散見される。遊びを「積み木」「ままごと」「おにごっこ」といった「〇〇遊び」の集合体としてとらえているからではないか。そうではなく、＜遊ぶこと＝自発的・主体的にやりたいことを心行くまで楽しみやり遂げること＞と認識すれば、「生活」とひとくくりにはできないのではないか。「遊び」は、そのものを正面から位置付けて記述すべきと考える。	幼児教育は子どもが生活するすべての場において行われるものであり、その中心的な活動である遊びは、子どもの健全な成長や発達にとって大変重要なものと考えております。
6				目標や育みたいものへの実現に向けて、どのように進めていけばいいのか羅針盤となる指針となるために、具体的なわかりやすい表現にすべき。	ご指摘を踏まえ、一部文言を修正いたします。
7				レベルの高い表現で、読み手にとっては違うように捉えてしまうことがあるように感じる。 指針は、保育所が初心に帰るために使用できるような、身近なものになって欲しい。	今回策定します指針は、幼児教育に関する本市の考え方や基本的な方向性を示すものでございます。今後作成を予定していますリーフレットなどにより、幼児教育について共通の理解が深まるよう、周知・広報に努めてまいります。
8				「具体的な表現方法」を盛り込んでほしい。誰が見ても保育の方法や、願う子ども像が見えてくる指針であって欲しいと願う。	今回策定します指針は、幼児教育に関する本市の考え方や基本的な方向性を示すものでございます。今後作成を予定していますリーフレットなどにより、幼児教育について共通の理解が深まるよう、周知・広報に努めてまいります。
9				全体を通して、「遊び」の重要性についての記述を。 また「生活と遊び」となっているが、遊びを通した生活との観点の記述を。	ご意見を踏まえ、遊びに関する記述を複数か所で追加しました。幼児教育は子どもが生活するすべての場において行われるものであり、その中心的な活動である遊びは、子どもの健全な成長や発達にとって大変重要なものと考えております。

No.	該当章	ページ	該当項目	意見(要約)	本市の考え方
10	1 策定の趣旨	1	1 乳幼児期の育ちと教育の重要性	0歳から2歳位までの記述にある「子どもが安心して周囲の人や物に興味を持ち、直接かかわっていこうとする意欲を育む」ことの大切さは、3歳以上の子の育ちにとっても同じく大事なことはないか。まずは本人の興味・意欲を育むことが土台である(それがあからこそ、行動・経験・社会性の獲得にもつながる)ことを明確にするべきではないか。	ご意見を踏まえ、文章を修正します。
				興味・意欲を育むことの大切さは、自己肯定感を獲得する「ために必要」なものというわけではない。まずは「…意欲を育むことが大切です。」と言い切り、併せて、「ありのままの自分を受け入れてもらうことで…」とすべきではないか。	ご意見を踏まえ、文章を修正します。
12	1 策定の趣旨	1	2 本指針の策定の趣旨と対象	策定の趣旨を読んでも趣旨が理解できない。本指針策定の必要性を根拠づける趣旨を明記すべきだと思う。	策定の背景として、子ども・子育て支援新制度がスタートし、市町村が実施主体となって幼児期の教育・保育の給付・事業を実施することとなったことや、幼稚園教育要領や保育所保育指針等が改訂され、平成30年度から施行されることなどがあります。しかしながら、本指針におきましては、若い保護者にも読んでいただけるよう、文章をなるべく分かりやすく簡潔にすることとし、策定の趣旨におきましては、乳幼児期の育ちと教育の重要性について述べ、広く社会全体で理解を深め、一層の充実に取り組む必要がある旨を記述したところでございます。
13				子どもとどうかかわっていいのかわからない親もいるので、そうした親の親育ちが大切。	子育てに不安を感じている保護者もいることから、妊娠・出産期から乳幼児期にかけての子育て支援にも取り組んでまいります。
14	2 子どもの育ちをめぐる課題	2	(1)子どもの育ちについて	今の小さな子どもたちを見ていると、落ち着きのない我慢のできない子が多いように感じる。生活スタイルの変化や親の子どもに対する接し方の変化が原因の一つなのではないか。	市内の幼稚園、保育所等を対象に実施しましたアンケートにおきましても、ご指摘と同様に、「保護者の生活スタイルが優先され、子どもの生活習慣や生活リズムの乱れに影響を与えている」とのご意見をいただき、幼児教育を推進する上で保護者の理解と協力が不可欠であると考えております。
15				外で遊ぶ機会が減ったことによる課題は、体力、運動機能に留まらないのではないかと。屋内と比べても多様な環境のもとで自律神経系の発達をみたり、五感への刺激を得たり、自然に関心を持ったりなど、他にもさまざまあることを記載してはいかがか。	ご意見と、昨年度市内の幼稚園、保育所等を対象に実施しましたアンケートに寄せられた回答を踏まえ、修正いたします。
16				課題として、「外で遊ぶ機会が減り、体力、運動機能が低下している」を挙げているが、対応策があまり見えない。	乳幼児期に外で遊ぶことは、身体機能の発達や体力の向上に資するのみならず、自然に触れることによる発見や感動の経験など屋内の遊びでは得られない様々な豊かな体験を子どもに与えてくれますことから、とても大切であると考えております。今後作成を予定している保護者向けリーフレットなどにより、外で体を動かして遊ぶことの大切さについて周知・啓発してまいりたいと考えております。
17				幼児の屋外遊びがその子にもたらすものは、体力、運動機能に限ったことだけではないと考えている。様々な刺激に触れることで情緒面でも豊かな学びをしているのではないかと。それぞれを別々に書いてほしいと思う。	ご意見を踏まえ修正いたします。
18				子育て中心の親でも、家庭と子育てのことを一人でやりこなすことは肉体的にも精神的にも大変。家庭で子育てしている親のほうが基本的な生活習慣を身につけることは難しいと思う。	ご意見として承ります。
19				「情緒が不安定で、落ち着きがない子どもが増えている」とあるが、親の精神的な安定がなければ子どもの情緒も安定できないと思う。	子育て家庭が安心して子どもを生み育てることができ、子どもたちが健やかに成長するよう、各種子育て施策を推進してまいります。

No.	該当章	ページ	該当項目	意見(要約)	本市の考え方
20	2 子どもの育ちをめぐる課題	2-3	(2) 家庭や地域の子育てについて	「身近な場所で遊んだり、地域の行事に参加したりすることが少なくなり、地域の様々な世代の方と関わる機会が乏しくなっている。」という課題認識について、とても共感する。 一方、身近な場所での遊ぶ環境は、道路交通・事故等の問題に始まり、生活環境の変化・大人の理解の乏しさなどで厳しさが増している。	ご意見として承ります。
21				身近な場所で遊ぶ機会が減ることの課題について、基本方針2「みんなで育てる」の中の具体的記述に、対応策が見えない。	ご意見を踏まえ、「基本方針2 地域の資源の活用」を修正いたします。
22				子育てを母親1人で担う家庭が増加している。子育ては、24時間休みなしのようなもの。当然母親に負担がいてしまいがちだ。そのような中で、その理想を実現することは、体力的、精神的に困難である。 その悩みや苦しみを吐き出せる場所が「子育てサークル」だと考える。保護者のみなさんには、そこで日頃の悩みや苦悩を吐き出していただき、新たな気持ちで子育てに向き合える機会になったらと思っている。	いただいたご意見を、今後の子育て施策の検討の際に参考とさせていただきます。
23		3	(3) 幼児期の課題について	子どもとのコミュニケーションはふれあい遊びが重要だと思う。高校生授業の中に手遊び・ふれあい遊びなどを取り入れる必要があると思う。	いただいたご意見を、今後の子育て施策の検討の際に参考とさせていただきます。
24				幼児教育・保育の質の向上を図るために、保育者の人数を増やして欲しい。賃金を増やすとか対策を練るべきでは。	保育士等の給与については、子ども・子育て支援新制度の公定価格のもと、改善が図られてきている状況であり、平成29年度には2%の給与改善に加え、技能及び経験を積んだ職員に対する追加的な改善も実施されているところです。 保育士等の処遇改善は安定財源を確保しながら取り組むべき課題であることから、今後とも機会を捉えて、国に対して必要な要望を行っていくということを基本としながら、受講が必須とされている研修に参加しやすい環境の創出など、本市の取組についても検討を進めてまいります。
25				「実体験の機会を意識的に増やす必要がある」に関しては、大いに共感する。ただ、幼児が「実体験」する際にケガなどのリスクを十分すぎるほど考慮した結果、幼児の行動を抑えなければならないことが多々あるように見受けられる。 「幼児教育の重要性を社会全体で理解する」とことと不可分であるように思われた。	ご意見として承ります。
26	義務教育のように、今行っている母親教室の形をもっと具体的なカリキュラムにしていく。母子手帳ならぬ親手帳を作ることにより、振り返りで親としての自信にもつながると思う。			いただいたご意見を、今後の子育て施策の検討の際に参考とさせていただきます。	
27	3 基本理念と基本目標	4	1 基本理念	「幼児教育は、小学校教育の先取りや知識を詰め込むものではなく…」ということがはっきりと打ち出されているのはよい。 「教育」という言葉が与える印象に対して、最初にはっきりと断りを入れていることが大事だと思う。	市内の幼稚園、保育所等を対象に実施しましたアンケートにおきまして、「小学校の学習の先取りや知識の詰め込みが幼児教育と考えられ、持てはやされる傾向がある。」と危惧する声や、「幼児教育は早期教育ではなく、幼児期にしかできない沢山の豊かな体験から学んでいくことが大切である。」との声が複数寄せられました。このことを踏まえ、幼児教育に関する本市の考えを明確に示すために記述したものです。保護者などの意向で年齢を繰り上げて教育を開始するのではなく、子どもたちが、自由に活動できるような雰囲気や安心感のもと、自分で興味・関心を持ったことを思う存分やることを通して発達を促していくことが重要であると考えております。

No.	該当章	ページ	該当項目	意見(要約)	本市の考え方
28	3 基本理念と基本目標	4	1 基本理念	「遊び」のことはあまり重視されていないのではないかと感じた。この後半部分で語られているのは「生活」部分で習得することのように思えてしまう。 根っこを育てるという話であれば、「決まり」という対人的、社会性の話の前に、その子自身の育ちのためにある「遊び」に着目した記述があってもいいと思う。	遊びに関しましても、情緒的・知的な発達を促すとともに、自分たちでルールを作り、そのルールを守って友だちと遊ぶ楽しさを感じたり、ケンカになったときに自分たちで話し合っ解決したりするなど、社会性が大いに育まれますことから、非常に重要であると考えております。
29				「幼児教育は、小学校教育の先取り知識を詰め込むものではなく」とあるが、先取りしていても、その中で子どもの人格形成の基礎作りになっていることもあると思う。	保護者の意向などにより、小学校以降の教育を年齢を引き下げて開始するのではなく、子どもたちが自由に活動できるような雰囲気や安心感のもと、自分で興味・関心を持ったことを思う存分やることを通して発達を促していくことや幼児期にしかできない沢山の豊かな体験から学んでいくことが大切であると考えております。
30				「1基本理念」の5つめの◇について、この文章は必要ないのではないか。	本文章には、子ども一人ひとりの個性を尊重し、「その子らしさ」を大事に育てていくとの趣旨があり、下のイラストと関連させていることから、中間案どおりの記載といたします。
31				教育という言葉の持つ意味が教え育むことであることから、知識を詰め込む意を強く感じる。他の変わる言葉で表現できないか。	ご意見と同様に、市内の幼稚園、保育所等を対象に実施しましたアンケートにおきましても、「小学校の学習の先取りや知識の詰め込みが幼児教育と考えられ、持てはやされる傾向がある。」といった声が寄せられております。本方針の下、幼児教育についての理解を深め、「幼児教育は知識を詰め込むものではなく、幼児期にふさわしい、子どもの自発的・主体的な活動を通して人格形成の基礎を培うものである」ことが広く浸透するよう、周知・広報に努めてまいります。
32	33	5	2 基本目標	失敗して、失望して死に向かうこともあるので「たくましさとしなやかさ」を盛り込んだこの文章はとも良い。	子どもたちには、たくましさだけでなく、失敗しても、気持ちを切り替えて立ち直ることができる、しなやかさも身につけて欲しいと考えております。
33		5	2 基本目標【育みたいもの】 ①健やかな体	「規則正しい生活習慣や運動習慣を身につけ～」るために、家庭親教育カリキュラムにしていくなど。	健やかな体を育むための一例として参考にさせていただきます。
34		5	2 基本目標【育みたいもの】 ②豊かな心・感動する心、柔らかな感性	「感動する心、柔らかな感性」を育むには、人形劇、体感美術館鑑賞など、文化的なことを積極的に行う。	豊かな心を育むための一例として参考にさせていただきます。
35	4 基本方針	6-7	基本方針1 根っこを育てる	「自己抑制、他者との協調」では、体を使った面白く夢中になるゲームを通して(レクリエーションなど)自己抑制、他者との協調がうまれると思う。	豊かな心を育むための一例として参考にさせていただきます。
36				「たくましく、しなやかに生きる力の基礎づくり」として、幼児期における遊びの大切さをしっかりと位置づけ、各主体の役割の中にも明記していくことが求められるものと考えます。	ご意見を踏まえ、「第5章 担い手とその役割 2 それぞれの役割」中「(1)家庭の役割」と「(2)地域の役割」に遊びに関する記述を追加します。

No.	該当章	ページ	該当項目	意見(要約)	本市の考え方
37	4 基本方針	6-7	基本方針1 根っこを育てる	「みやぎっ子ルルブル推進会議」が掲げる「しっかり寝ル・きちんと食ベル・よく遊ぶで健やかに伸びル」の趣旨も反映させ、「遊ぶ」をより積極的に位置づけるべきではないか。あるいは、次項の「生活や様々な遊びを通して」の「生活」を「早寝早起き朝ごはん」の方に統合し、次項は「様々な遊びを通して」とする方が、よりの確なものになるのではないか。	子どもの生活の中心な活動である遊びは、子どもの健全な成長や発達にとって大変重要なものと考えております。また、遊びに限らず日常生活においても、例えば、買い物や食事の準備、掃除の手伝いなど、身体機能の発達や体力の向上が図られる場面があると考えておりますことから、中間案どおりの記載といたします。
38				「命を大切にす心の教育」が基本方針1にきているが、その前に子ども人間の根っことして、もっと大事なことがあるように感じる。自己肯定感はたくましく生きる力の中に入っているが、たくましく生きるとはなんだろうか。たくましく生きなくとも人としてその人が好きに様々なことを経験して、選び、生きていければいいと思う。	第1章の「策定の趣旨」に記述したとおり、乳幼児期にしっかりと愛情を注ぎ、子どもが「自分は愛されている、大切にされている」と実感できることが、子どもに安心感と自信を与え、健やかに成長する原動力となるものと考えております。その上で、子どもたちが、社会の一員として、自分らしく、生き生きと自分の人生を生き抜くことができる力の基礎を育むことが大切であると考えております。
39				基本方針の「命を大切にす心の教育」はとても良いと思う。	本市におけるいじめの問題や東日本大震災から得られた教訓を子どもたちに伝えていくために、「命を大切にす心の教育」が重要だと考えております。
40				親教室カリキュラムの単元として、予防接種を母子手帳に記載するように、このカリキュラムをこの時期に受けなければならないという形にしたらどうか。	いただいたご意見を、今後の子育て施策の検討の際に参考とさせていただきます。
41				わくわくする遊び、レクリエーション的なものと体力向上を図るならば専門的な知識が必要だと思う。	ご意見として承ります。
42				子どもが理解できる絵本や3Dなどを取り入れて、幼児教育に必須で入れるのはどうか。	いただいたご意見を、今後の子育て施策の検討の際に参考とさせていただきます。
43				「たくましく、しなやかに生きる力の基礎づくり」の中の「しなやかな心を育みます。」という言葉は好きだ。	子どもたちには、たくましさだけでなく、失敗しても、気持ちを切り替えて立ち直ることができる、しなやかさも身につけて欲しいと考えております。
44				「自分で立ち直って」は、突き放した言い方に聞こえる。「周囲の人の励ましや、周囲の人の助けを借りながら立ち直って、もう一度挑戦したり、別な方法を考えたりするような、しなやかな心を」などとしてはどうか。	ご意見を踏まえ、文章を修正します。
45				「すべての子どもがともに育つという考えの下」の「下」という表現ではなく、「を基本として」ではどうか。 また、「それぞれの特性や発達を理解し、各々の発達の課題に合った支援を行い、子どもひとりひとりの可能性を」などとしてはどうか。	ご意見を踏まえ、文章を修正します。
46		8	基本方針2 みんなで育てる	幼児教育を理解する前に子どもを理解することが大事ではないか。 保育者みんなで子どもたち一人ひとりを見つめ、家庭的な雰囲気の中で自ら学びたいと思えるような環境を作っていくことも重要だと思う。	第1章の「策定の趣旨」に記述したとおり、乳幼児期にしっかりと愛情を注ぎ、子どもが「自分は愛されている、大切にされている」と実感できることが、子どもに安心感と自信を与え、健やかに成長する原動力となるものと考えております。その上で、発達の過程に応じた養護と教育を積み重ね、意欲を育てていくことが大切であると考えております。
47				「幼児教育の理解促進」や「地域の資源の活用」は、大いに共感する。	幼児教育の重要性について理解の促進を図り、子どもたちの健やかな育ちを地域全体で支えていく環境づくりが必要と考えております。
48				「○地域の資源の活用」の中に、豊かな自然と歴史・文化・伝統行事が全て含まれているが、豊かな自然と文化的なものは、独立させた方がより方向が明確になると思う。	ご意見を踏まえ、修正いたします。

No.	該当章	ページ	該当項目	意見(要約)	本市の考え方
49	4 基本方針	8	基本方針2 みんなで育てる	「地域の資源の活用」について、自分たちが育った仙台の郷土愛が生まれるようなカリキュラムを望む。	現時点では、本市としてカリキュラムを作成することは想定しておりませんが、子どもたちが成長し、自らを振り返ったときに、「仙台に生まれてよかった」「仙台で育てよかった」と思えるように、子どもたちの健やかな育ちをしっかりと支えてまいりたいと考えております。
50	4 基本方針	8	基本方針3 教育の質を高める	保育者は家庭の教育を向上しようとするのではなく、悩みや抱えていることを受け入れ共感し負担を和らげるなど「保護者を支える」という表現を使うのはどうか。	ご意見の趣旨を踏まえ、第5章2(3)幼稚園、保育所、認定こども園等の役割の文章を修正いたします。
51		家庭の教育力とは、例えば親としての子育てだったり、家庭での生活力だったりであって、教育力には違和感がある。全体的に教育が頻繁に使われているが、幼児期の成長において別の言葉に置き換えて表現してほしい。	文部科学白書等、国や他の自治体においても「地域・家庭の教育力」の使用例が見られますことから、中間案どおりの記載といたします。		
52		「家庭の教育力の向上」として、母子手帳のような親手帳を作ってみてはいかがでしょうか。	いただいたご意見を、今後の子育て施策の検討の際に参考とさせていただきます。		
53		教育力の向上ということで手遊び・ふれあい遊びなどの講習会は積極的に参加しているが、団体運営資金として支援していただきたい。	いただいたご意見につきましては、今後の子育て施策の検討の際に生かしてまいりたいと存じます。		
54		民間の保育所では経験を積むことができるほど仕事を継続できない状況があると聞く。優秀な人材の獲得のためにも、子どもの育ちにかかわる仕事の給与に関して何らかの支援が必要ではないかと思う。	保育士等の給与については、子ども・子育て支援新制度の公定価格のもと、改善が図られてきている状況であり、平成29年度には2%の給与改善に加え、技能及び経験を積んだ職員に対する追加的な改善も実施されているところです。保育士等の処遇改善は安定財源を確保しながら取り組むべき課題であることから、今後とも機会を捉えて、国に対して必要な要望を行っていくことを基本としながら、受講が必須とされている研修に参加しやすい環境の創出など、本市の取組についても検討を進めてまいります。		
55	5 担い手とその役割	9	2 それぞれの役割 (1) 家庭の役割	子どもの育ちにとって、子ども自身の興味・意欲に基づく遊びが大切であり、家庭でもその意識を持つことの重要性を記述すべきと考える。「(3)幼稚園、保育所、認定こども園等の役割」に挙げられる「子どもの自発的・主体的な活動を促し、心ゆくまで楽しみ、やり遂げる経験を積み重ねることで、健やかな心身を育みます。」という健やかな育みの保障について、家庭の役割として明記することも考えられる。	ご意見を踏まえ、「家庭の役割」に追加します。
56				「仙台で子育てすると、しっかりとしたカリキュラムがあるので楽しいよ」と言われるような街であって欲しい。	現時点では、本市としてカリキュラムを作成することは想定しておりませんが、子育て家庭が安心して子どもを生み育てることができ、子どもたちが健やかに育つまち仙台の実現を目指し、各種子育て施策を推進してまいります。
57		9	2 それぞれの役割 (2) 地域の役割	課題に挙がっていた「身近な場所で遊んだり、地域の行事に参加したりすることが少なくなり、地域の様々な世代の方と関わる機会が乏しくなっている。」を受け、(2)「地域の役割」の記述の部分には、「地域は、 <u>身近な場所で遊んだり</u> 、様々な人との交流や…」と記述してはと考える。	ご意見のとおり、「身近な場所で遊んだり、」を追記します。遊びを見守ることを含め、子どもたちをともに育てるという意識を持ち、子どもの成長と子育て家庭を見守り、支えていただきたいと考えております。
58				「子どもが地域で遊び、育つのを見守れる地域をつくる」といったことを地域の役割として掲げることが必要と考える。	

No.	該当章	ページ	該当項目	意見(要約)	本市の考え方
59	5 担い手とその役割	9	2 それぞれの役割 (2) 地域の役割	「地域の役割」について大いに共感できるが、地域住民には具体的にどのようなかわりが考えられるのか、などが示されなければ状況は変わらないのではと考える。 幼児の公園での外遊びは多くの課題の解決にかかわっているのではないかと考える。	いただいたご意見を、今後の子育て施策の検討の際に参考とさせていただきます。
60				地域でも人材不足を感じる。民生委員・児童委員は人材があっても専門性がないために、任せられても力量不足になり続かない。	民生委員・児童委員を始め、児童館や子育て支援機関など、地域の子育てに関わる関係機関・団体が互いに力を発揮していただくことで地域の役割を果たしていただくものと考えております。
61		9	2 それぞれの役割 (3) 幼稚園、保育所、認定こども園等の役割	「(3) 幼稚園、保育所、認定こども園等の役割」として「近隣の小学校の先生との交流」は重要なことだとは思いますが、人力的余裕を作ることができなければこの指針がより保育現場の余裕を奪い、幼児教育の質を下げることにつながりかねない。この指針を実現するための具体的な動きに期待している。	幼稚園・保育所等と小学校とのスムーズな連携について、ご指摘の点も踏まえつつ、引き続き教育委員会と連携を図りながら取り組んでまいりたいと考えております。
62				「同年齢や異年齢の子どもたちが集い、遊び、生活する」とあるが、今その環境が「児童館」にあるように思う。	ご意見として承ります。
63		10	2 それぞれの役割 (4) 仙台市の役割	養育者自身の心身の状態を良く保ち、余裕がある状態で子どもに接することの重要性を強く実感している。気軽に、土日、夜間も含めて、子どもと離れて養育者自身の心身を立て直す時間を作れるようになる事が望ましいと思う。親支援の方策が乳幼児にダイレクトに影響すると確信しています。	いただいたご意見を、今後の子育て施策の検討の際に参考とさせていただきます。
64	障害児を育てている家庭には、保育所の入所要件を緩くして欲しい。(1日4h、週4日以上という保育要件)			本市においては、保育の必要性の認定においては、就労や親族の自宅看護・介護等の場合、月64時間以上従事することを要件として定めているところです。各ご家庭の事情が様々であることを踏まえますと、一定の基準の下で等しい取扱いとすることが望ましいと考えております。	
65	素晴らしいものができあがることを実感した。今後これをどのように具体的に行うかが重要だと思ふ。			本方針のもと、幼児教育の重要性について理解を深め、幼児期におけるすべての子どもたちの学びと健やかな成長を支援する環境づくりに努めてまいります。	